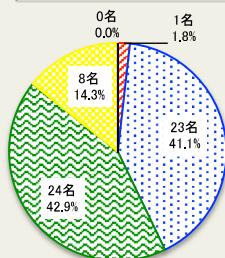


まちづくり 交流会参加者 アンケート！

まちづくり交流会にご参加いただいたみなさん
からご感想やご意見をいただきました。
貴重なご意見は、今後の参考にさせていただきます！

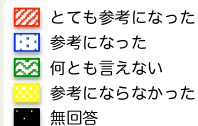


問1 今回のまちづくり交流会の内容はいかがでしたか？



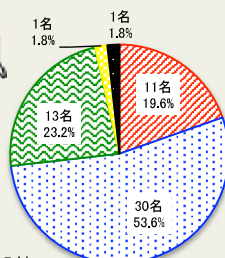
市からの説明

- ・まちづくり協議会の仕組み、位置付けが分かった
- ・地区別で説明会をお願いしたい
- ・少子高齢化、家庭ファースト、町内行事には興味なしの人が増えてきた



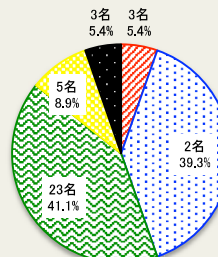
事例発表

- ・予算についてもう少し説明があったらよかった
- ・組織体制や各事業への取り組みが大変参考になった。やはり人材育成が必要



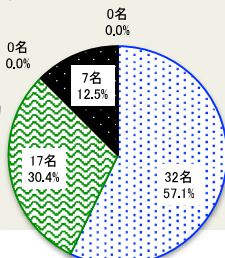
テーマ別意見交換

- ・地区によって課題や問題が違うと実感した
- ・各地域に歴史があり、画一的に組織づくりをするのは無理なのではないか
- ・生涯学習からまちづくり協議会へ移行することに対する課題を共有できた
- ・時間が短かったので意見が出ない人もあったが、他地区の話を書けるというのは良かった



展示部門

- ・各地区いろいろな活動を工夫しながら頑張ってやっている姿が見られ良かった
- ・各地区それぞれの取り組みがわかり今後の活動に活かせる



問2 ご意見、ご感想、来年度開催に向けてのご提案など

- ・今後も継続していただきたい。各地区の成功・失敗例を共有し、学びたい
- ・地域の課題解決に向けた取り組みに対し、必要に応じて市職員の支援の強化をお願いしたい
- ・役員は1~2年任期なので、内容がわからない人もいる前提でプログラムを企画・運営してほしい
- ・意見交換はもうよいのでは。組織運営のために、テーマごとに話し合いを持つべきなのでは

【発行】平成31年3月
 【発行者】富士市市民部まちづくり課
 富士市永田町1丁目100番地(富士市役所3階)
 ☎ (0545) 55-2887
 🌐 <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>



次号も
お楽しみに♪



まちづくり
交流会だコブ!

チカラコブたん

コブタ レポート

■地域の力こぶ増進計画・ニュースレター■

第2回「まちづくり交流会」が開催されました!



去る2月2日(土)、富士市役所消防庁舎にて、第2回目となる『まちづくり交流会』が開催されました。

当日はお天気にも恵まれ、冬晴れのもと素晴らしい富士山の眺め! 富士市内26地区のまちづくり協議会の役員さんが大集合し、日頃の活動における課題や悩みを共有しました。

前半は伝法地区・田子浦地区の事例発表。後半は、ブロックに分かれ、持続可能な地域コミュニティの実現に向けて、意見交換を行いました。

今回のコブタレポートでは、その模様を総力取材します。



【プログラム】

- ①市長あいさつ
- ②「富士市地区まちづくりのこれまでとこれから」(富士市)
 - ・富士市地区まちづくり活動条例について
 - ・地区まちづくり活動の現状とまちづくり協議会の役割 など
- ③事例発表(伝法地区、田子浦地区)
- ④分科会(グループ別意見交換)
- ⑤ふりかえり

事例表

伝法地区



伝法地区では、役員のなり手不足や高齢化、事業のマンネリ化などが問題となっていました。そこで、「まちづくり協議会」と「生涯学習推進会」を一本化し、負担の軽減を図ることにしました。

協議会への移行により、役員会等の会議が一度で行えるようになり、統制が取りやすくなりました。また、地区団体からの意見を取り入れた新たな事業展開へ繋げられるようになり、8年ぶりに体育祭が復活したそうです。

分科会

『未来に続くまちづくり協議会のための人財づくりを考えよう』

分科会では、ブロックに分かれ、A～Dの4つの方向性案から、それぞれの「良いところ」「心配なところ」を考えました。

出された意見を整理した上で、担い手確保のために有効だと思うものについて、地区での可能性について話し合いました。

それぞれの地区で最も有効と思われる方向性について一つだけ選び、結果は「旗あげアンケート（色カードを選択）」で見える化し、会場で共有しました。



A 組織や活動内容を見直す

例えば… 活動や会議などの棚卸し、組織の見直し

B 誰もができるようにする

例えば… わかりやすいマニュアルづくり

C より多くの人に関われるようにする

例えば… ポイント制の導入、役割を細分化する

D 外の人の力を借りる

例えば… 企業への協力依頼、事務などをNPOに委託する

E その他

4つの方向性案

おもな意見

A

- ・各構成団体の活動内容等の情報共有
- ・会議の数を少なくして身のある会議を
- ・業務の仕分け
- ・各団体の事業の一本化、組織で役割分担をする
- ・各団体から役員を出してもらう

B

- ・マニュアルを作成する（パソコンの活用）
- ・最低限の報酬、手当が必要なのは

C

- ・興味のあるものに参加する（得意分野）
- ・学校が行事に入ってきてもらう

D

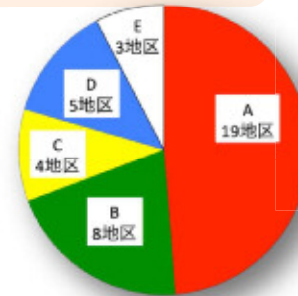
- ・専門家など、外からのアドバイスを入れる

田子浦地区



田子浦地区は、平成29年4月1日に「新生」まちづくり協議会がスタートしました。生涯学習推進会を解散し、活動は実行委員会または各部会を軸に、区長連合会が率先して取り組んでいます。

こうした新しい体制のもと、新規事業として「田子の浦みなとマルシェ」「田子浦かるたの作成」にも取り組みました。めざす地区の将来像を地域で共有し、一丸となって進んでいます。



展示

■まちづくり展

1/22～2/1の期間中、市庁舎2Fホールおよび消防庁者連絡通路において、市内26地区の「まちづくり新聞」「協議会ニュース」などを展示。

各地区の活動内容がわかり、訪れる人も興味深く見入っていました。



センター長大活躍!

色とりどりのピブスをみにつけているのは各地区のセンター長！分科会をサポートしました。

